

ESPフォーキャスト調査 質問票  
2020年6月調査 (6月16日頃公表予定)  
(回答の送信期限:6月11日12時)

2次QE 版

機関名  
フォーキャスター 氏名

- とりまとめの際のフォーキャスター一覧の機関名、肩書、氏名等の記載を変更する場合は、お書き添えください。
- 数字は半角で打ち込んでください。

I-(1) 年度(米国、中国、ユーロ圏のGDP、NY原油価格)は暦年

Table with columns for various economic indicators: 名目GDP, 実質GDP, 実質民間最終消費支出, 実質民間住宅投資, 実質民間企業設備投資, 実質民間在庫変動, 実質政府最終消費支出, 実質公的固定資本形成, 実質公的在庫変動, 実質財貨・サービスの輸出, 実質財貨・サービスの輸入, 鉱工業生産指数, 経常収支, 消費者物価(生鮮食品除く総合), 完全失業率, 名目賃金指数, 国債流通利回り(10年物), 日経平均株価, マネーストック(新M2), 円相場(対米ドル), 米国実質GDP(暦年), NY原油価格(WTI/バーレル/暦年), 中国実質GDP(暦年), 貿易収支(通関ベース), ユーロ圏実質GDP(暦年).

注:①国債流通利回り、日経平均株価、円相場、NY原油価格は、いずれも営業日平均。②名目賃金指数は、毎月勤労統計調査の事業所規模5人以上(パートタイム労働者を含む)の現金給与総額

I-(2) 予測値の主観的な分布

Table for subjective distribution of forecast values, including columns for 実質GDP増加率 and various percentage ranges from x-15 to 5Cx.

・CPI(生鮮食品除く総合)上昇率

Table for subjective distribution of CPI forecast values, including columns for CPI increase rate and various percentage ranges from x-4 to 4Cx.

II. 四半期

Table for quarterly data, including columns for 実質GDP, 実質民間最終消費支出, 実質民間企業設備投資, 実質財貨・サービスの輸出, 実質財貨・サービスの輸入, 消費者物価(生鮮食品除く総合), 完全失業率, 円相場(対ドル), 株価(日経平均), 鉱工業生産指数.

III. 総合景気判断DI

Form for overall economic sentiment judgment, including a table for 総合景気判断 (上昇, 横ばい, 下降) and a reference note about DI values.

IV. 20年4～6月期の成長率(その他項目)

- 「I」の項目以外の前期伸び率が、「上昇(伸び率の符号はプラス)」、「ほぼゼロ」、「低下(伸び率の符号はマイナス)のいずれかを選択し、以下の該当する欄に「○」を入力してください。在庫変動については、前期伸び率ではなく、実質GDP成長率に対する寄与度についてお答えください。

Table for growth rate judgment, including columns for (実質) 前期伸び率 and categories like 民間住宅投資, 民間在庫変動(寄与度), etc.

V. 景気の転換点

- 政府見解では2012年11月が景気の谷となっています。さらに、18年12月の内閣府景気動向指数研究会で17年8月以前に景気の山はつかないことが確認されました。それ以降、その次の景気の転換点(山)はもう過ぎたとお考えですか。

Flowchart for economic turning point judgment, including questions about the last peak (山) and trough (谷) and their respective dates and probabilities.

VI. 日銀の金融政策

(1) ●日銀の政策金利・誘導目標の見通しについてお尋ねします。

2020年末、21年末の日銀の短期政策金利、長期金利の誘導目標・実勢金利はそれぞれどれくらいになると予想していますか。

以下のいずれかに"○"を入力してください。【現状維持を予想される場合は、短期は「▲0.1%以上～0%未満」、長期は「0%以上～0.1%未満」をお選びください。

		▲0.3%未満	▲0.3%以上 ▲0.2%未満	▲0.2%以上 ▲0.1%未満	▲0.1%以上 0%未満	0%以上 0.1%未満	0.1%以上 0.2%未満	0.2%以上 0.3%未満	0.3%以上 0.4%未満	0.4%以上 0.5%未満	0.5%以上 0.75%未満	0.75%以上 1.0%未満	1.0%以上
短期政策金利 (現状 ▲0.1%)	20年末												
	21年末												
長期金利の誘導目標 (現状 0%程度)	20年末												
	21年末												
実勢の長期金利 (10年物国債流通利回り)	20年末												
	21年末												

(2) ●枠組み自体の変更など(上記の補足も含む)があればご記入ください。

--

VII. (特別調査)米国の政策金利

●2020年末、21年末の米国の政策金利(FFレート・市場実勢値)はどれくらいになると予想していますか。

以下のいずれかに"○"を入力してください。

		▲1.0%未満	▲1.0%以上 ▲0.75%未満	▲0.75%以上 ▲0.5%未満	▲0.5%以上 ▲0.25%未満	▲0.25%以上 0%未満	0%以上 0.25%未満	0.25%以上 0.5%未満	0.5%以上 0.75%未満	0.75%以上 1.0%未満	1.0%以上 1.25%未満	1.25%以上 1.5%未満	1.5%以上 1.75%未満	1.75%以上 2.0%未満	2.0%以上 2.25%未満	2.25%以上 2.5%未満	2.5%以上 2.75%未満	2.75%以上 3.0%未満	3.0%以上 3.25%未満	3.25%以上 3.5%未満	3.5%以上 3.75%未満	3.75%以上	
米国のFFレート (現状0.00～0.25%)	20年末																						
	21年末																						

VIII. (特別調査)オリンピック開催

(1) ●今回の予測に、2021年度のオリンピック開催を繰り込んでいますか。

あてはまるものに"○"を入力してください。

はい	いいえ
----	-----

(2) ●「いいえ」の場合にお答えください。

繰り込んでいないのはなぜですか

あてはまるものに"○"を入力してください。(複数回答可)

①開催経費がどの程度影らむの見通せない	
②再延期・中止の可能性も否めない	
③その他(具体的に→→→)	

IX. (特別調査)新型コロナウイルス対策

(1) ●今回の予測では、日本の新型コロナウイルス対策としての財政出動を想定していますか。

あてはまるものに"○"を入力してください。

はい	いいえ
----	-----

(2) ●「はい」の場合にお答えください。

繰り込んでいる場合、新型コロナウイルス対策として2019・20年度の合計で日本の財政出動をどの程度想定していますか。

名目GDP比でお答えください。

名目GDP比	%
--------	---

X. (特別調査)2022年度予測

● I で2021年度まで聞いていますが、2022年度の実質経済成長率と消費者物価上昇率について、どの程度になると予想していますか。%で入力して下さい。

2022年度	
実質経済成長率	%
CPI上昇率 (生鮮食品を除く総合)	%

XI. (特別調査)長期予測(6月・12月に調査)

● I で2021年度まで聞いていますが、(1)その後の5年間の2022～2026年度と、(2)その次の5年間の2027～31年度の実質経済成長率及び消費者物価上昇率の年平均上昇率について、どの程度になると予想していますか。%で入力して下さい。

(1) 2022～28年度		(2) 2027～31年度	
実質経済成長率	%(年平均)		%(年平均)
CPI上昇率 (生鮮食品を除く総合)	%(年平均)		%(年平均)

XII. (特別調査)2027年度の国・地方の基礎的財政収支

(1) ● 2027年度に国・地方の基礎的財政収支の黒字化は達成されると予測していますか。

「はい」、「いいえ」の一方に"○"を入力してください。

はい	いいえ
----	-----

(2) ● 2027年度基礎的財政収支の水準はどの程度になると予想していますか。%で入力して下さい。

%	(名目GDP比)
---	----------